

【自由課題 一般部門（環境） 最優秀賞】



北陸地方整備局 羽越河川国道事務所 片野 智博

〔 荒川の「たんぼ」再生に向けた取り組み 〕

【研究（取組）概要】

荒川には、地元で「たんぼ」と呼ばれる湧水ワンドが存在し、新潟県では絶滅の恐れがある「トミヨ」などの特徴的な魚類の生息場として非常に重要な環境となっています。しかし、昭和42年の羽越水害以降、洪水による攪乱の機会が少なくなったことなどから、「たんぼ」が減少し、生物生息場としての多様性が失われつつあります。

本研究課題では、荒川の「たんぼ」再生に向けた取り組みとして実施した様々な工夫について事例紹介しました。

【研究（取組）の特徴】

荒川の「たんぼ」再生に向けて工夫した主な取り組み事例として3点を紹介します。

1点目は有識者や地元NPOの助言・協力を得るため、「荒川たんぼの保全・創出検討会」を設立したことです。日常のモニタリング調査を地域連携で行う仕組みとして「たんぼカルテ」を作成し、本検討会にて運用しています。

2点目は、「たんぼ」の実態を把握するためのリモートセンシング技術の応用です。冬場に熱赤外線画像カメラを利用し、河川水と湧水との温度差を解析することにより、湧水の分布状況を迅速かつ正確に把握することが出来ました。

3点目は、湧水の湧出を促進するための工夫として、新設たんぼの河床に木工沈床工を設置したことです。

【受賞の感想・今後に向けて】

荒川の「たんぼ」再生に向け、様々な施策を検討し、具体化を進めてきましたが、この度、この取り組み事例が最優秀賞として評価されたことをとても嬉しく思います。

再生した「たんぼ」は施工後間もない状態ですので、今後も継続して評価・分析し、より良い環境の創出を目指して行く所存です。

最後に、本研究課題を進めるにあたり、ご尽力頂いた関係者の皆様に、この場をお借りして感謝の意を表します。ありがとうございました。